

平成 31 年度

数 学

注 意

- 1 問題は 1 ページから 6 ページまであり、これとは別に解答用紙が 1 枚ある。
- 2 解答は、全て別紙解答用紙の該当欄に書き入れること。
- 3 答えに $\sqrt{\quad}$ が含まれるときは、 $\sqrt{\quad}$ を用いたままにしておくこと。
また、 $\sqrt{\quad}$ の中は最も小さい整数にすること。

(一) 次の計算をして、答えを書きなさい。

$$1 \quad (-24) \div 6$$

$$2 \quad -\frac{2}{7} + \frac{1}{3}$$

$$3 \quad -(2x-y) + 3(-5x+2y)$$

$$4 \quad (9a^2+6ab) \div (-3a)$$

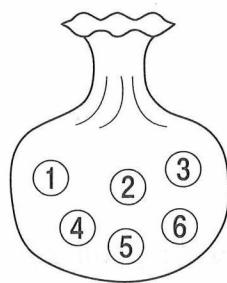
$$5 \quad (3\sqrt{2}-1)(2\sqrt{2}+1) - \frac{4}{\sqrt{2}}$$

$$6 \quad (x+4)^2 + (x+5)(x-5)$$

(二) 次の問いに答えなさい。

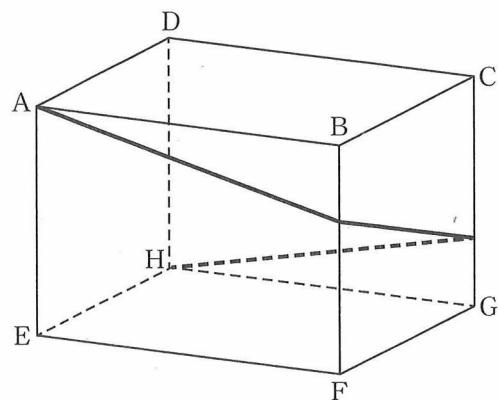
1 x についての二次方程式 $x^2 - 5x + a = 0$ の解の 1 つが 2 であるとき、 a の値を求めよ。

2 下の図のように、袋の中に、1, 2, 3, 4, 5, 6 の数字が 1 つずつ書かれた 6 個の玉が入っている。最初に、Aさんが袋の中から玉を 1 個取り出し、書かれた数字を見てからそれを袋にもどす。次に、Bさんが袋の中から玉を 1 個取り出す。このとき、Bさんが取り出した玉に書かれた数が、Aさんが取り出した玉に書かれた数より大きくなる確率を求めよ。ただし、どの玉が取り出されることも同様に確からしいものとする。

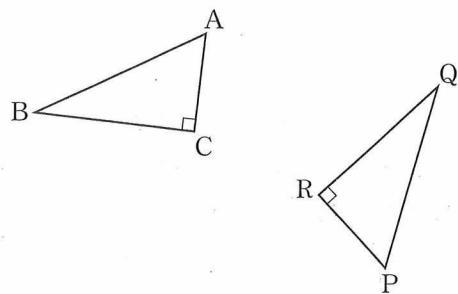


3 箱の中に同じ大きさの黒玉だけがたくさん入っている。この黒玉の個数を推測するために、黒玉と同じ大きさの白玉 200 個を黒玉が入っている箱の中に入れ、箱の中をよくかき混ぜたあと、そこから 80 個の玉を無作為に抽出したところ、白玉が 5 個含まれていた。この結果から、はじめに箱の中に入っていた黒玉の個数は、およそ何個と推測されるか。

4 下の図のように、 $AB = 4 \text{ cm}$, $AD = 2 \text{ cm}$, $AE = 3 \text{ cm}$ の直方体の表面に、ひもを、頂点 A から頂点 H まで、辺 BF と辺 CG に交わるようにかける。ひもの長さが最も短くなるときのひもの長さを求めよ。



5 下の図において、直角三角形PQRは、直角三角形ABCを回転移動したものである。このとき、回転の中心Oを解答欄に作図せよ。ただし、作図に用いた線は消さずに残しておくこと。



6 花子さんが住む市の1か月の水道料金は、使用量が 8 m^3 までは基本料金のみであり、使用量が 8 m^3 を超えると、超えた使用量に対して 1 m^3 当たりいくらかの超過料金が発生する。今月から水道料金が値上げされ、先月に比べて、基本料金が20%， 1 m^3 当たりの超過料金が15円、それぞれ高くなった。花子さんの家の使用量は先月も今月も 25 m^3 であった。先月の水道料金は4260円であり、今月の水道料金は先月の水道料金と比べると495円高くなかった。先月の基本料金と、先月の 1 m^3 当たりの超過料金をそれぞれ求めよ。ただし、用いる文字が何を表すかを最初に書いてから連立方程式をつくり、答えを求める過程も書くこと。

(三) 縦の長さが a cm、横の長さが b cm の長方形の用紙から、正方形を切り取る作業を次の【手順】にしたがって行う。ただし、 a 、 b は整数で、用紙は 1 目もり 1 cm の方眼用紙とする。

【手順】用紙の短い方の辺を 1 辺とする正方形を切り取る。残った用紙が正方形でないときは、残った用紙の短い方の辺を 1 辺とする正方形を切り取る。残った用紙が正方形になるまで、繰り返し正方形を切り取っていく。

例えば、 $a=4$ 、 $b=7$ のときの作業は次のようになる。

まず、図 1 のような縦の長さが 4 cm、横の長さが 7 cm の長方形の用紙から、この用紙の短い方の辺を 1 辺とする正方形を切り取る。その切り取り方は図 2 のようになる。次に、残った縦の長さが 4 cm、横の長さが 3 cm の長方形の用紙から、短い方の辺を 1 辺とする正方形を切り取る。同様に、残った用紙が正方形になるまで切り取る。

すると、 $a=4$ 、 $b=7$ のときの正方形の切り取り方は図 3 のようになり、全部で 5 枚の正方形ができる。

図 1

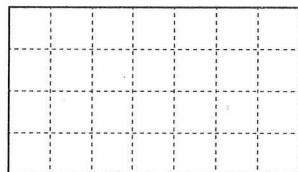


図 2

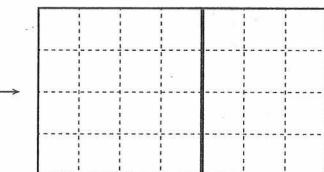
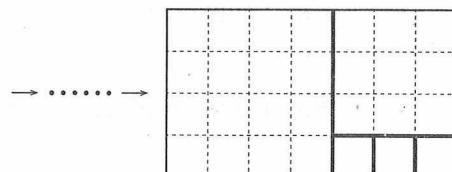


図 3



このとき、次の問い合わせに答えなさい。

1 $a=4$ 、 $b=13$ のとき、上の図 3 にならって正方形の切り取り方を解答欄にかけ。

2 $a=8$ 、 $b=13$ のとき、全部で何枚の正方形ができるか求めよ。

3 $a=3$ のとき、

(1) 全部で 2 枚の正方形ができるような b の値を求めよ。

(2) 全部で 15 枚の正方形ができるような b の値を全て求めよ。

(四) 下の図1において、放物線①は関数 $y=ax^2$ のグラフであり、放物線②は関数 $y=x^2$ のグラフである。また、点Aは放物線①上の点であり、点Aの座標は(2, 2)である。

このとき、次の問い合わせに答えなさい。

1 a の値を求めよ。

2 関数 $y=x^2$ について、 x の変域が $-5 \leq x \leq 2$ のときの y の変域を求めよ。

3 下の図2において、点Pは放物線①上の $x > 0$ の範囲を動く点である。点Pを通り x 軸に垂直な直線と放物線②との交点をQ、点Qを通り x 軸に平行な直線と②との交点のうち、点Qと異なる点をR、点Rを通り x 軸に垂直な直線と放物線①との交点をSとし、四角形PQRSをつくる。また、点Pの x 座標を t とする。

(1) 四角形PQRSの周の長さを t を使って表せ。

(2) 四角形PQRSの周の長さが60であるとき、

ア t の値を求めよ。

イ 点Aを通り、四角形PQRSの面積を2等分する直線の傾きを求めよ。

図1

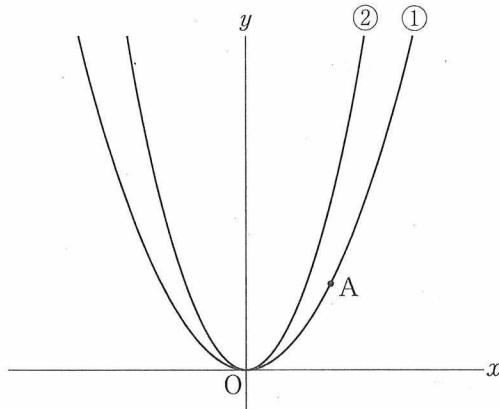
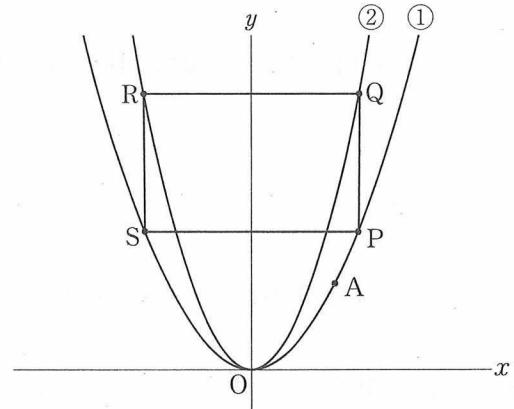


図2



(五) 下の図1のような、正方形ABCDと正方形EFGHがある。頂点Eは、正方形ABCDの2つの対角線の交点と同じ位置にある。辺BCと辺EF, 辺CDと辺EHの交点をそれぞれI, Jとする。正方形ABCDと正方形EFGHの相似比は、3:4である。

このとき、次の問い合わせに答えなさい。

1 $\triangle EIC \equiv \triangle EJD$ であることを証明せよ。

2 下の図2は、図1に色をつけたものである。色をつけた部分（■の部分）の面積が 182 cm^2 であるとき、正方形ABCDの1辺の長さを求めよ。

3 下の図3のように、直線ACと対角線FHとの交点をKとする。 $AB = 6 \text{ cm}$, $BI = 1 \text{ cm}$ であるとき、四角形IFKCの面積を求めよ。

図1

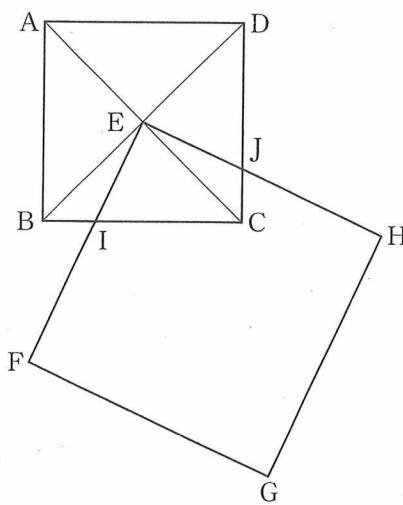


図2

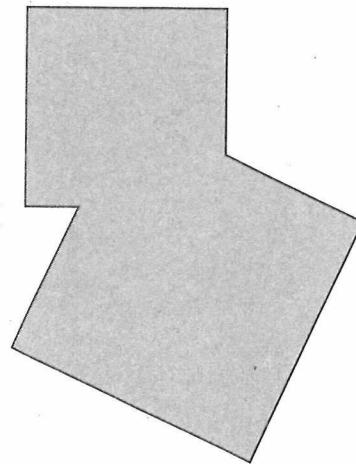


図3

